

三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



出席率	会員44名中33名
先々週の出席率	92.86%
ゲスト	R I 第2560地区ガバナー 山崎堅輔様 第4分区ガバナー補佐 鈴木守男様
先週のメークアップ	7/10 槻の森斎苑 AED使用講習会へ 星野健司君 野水孝男君 野中 悟君 佐藤嘉男君 7/11 加茂RCへ 坪井正康君 7/14 インターアクト年次大会(新発田)へ ～15 野中 悟君

山崎堅輔ガバナー公式訪問

こんにちは。

ガバナー 山崎堅輔様、ガバナー補佐 鈴木守男様、ようこそ三條南ロータリークラブにお出でいただきましてありがとうございます。

公式訪問ということで、私は大変緊張しておりますが、さらに、この会場に凛とした雰囲気、責任の重大さを感じております。

この後、ガバナー講話、クラブ協議会と続きます。
ご指導をお願い申し上げて挨拶とさせていただきます。

いざ出陣 眼鏡 補聴器 義歯 携帯



会長挨拶

三條南ロータリークラブ 会長

草野恒輔



四つのテスト

一言行はこれに照らしてからー

I 真実かどうか

II みんなに公平か

III 好意と友情を深めるか

IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 ロンD. バートン [アメリカ]

第2560地区ガバナー 山崎 堅輔 [中 条]

第4分区AG 鈴木 守男 [三条東]

会 長 草野 恒輔

幹 事 平松 修之

S A A 齋 藤 嘉一

事務局 〒955-8666 三條市旭町2-5-10

三條信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

幹事報告



平 松 修 之 幹事

山崎ガバナー事務所より「2015-16年度ガバナー指名」の件、ご連絡

2015-16年度ガバナー（本年度ガバナーノミニー）指名

氏 名 山本 和則（やまもと かずのり）
所 属 新潟南RC（平成3年2月入会）
職業分類 ソフトウエアサービス業
勤務先 （株）ジャパンネット 代表取締役社長

柏崎ロータリークラブより「第13回RYLA研修会」開催のご案内

日 時 2013年10月5日（土）～6日（日）一泊二日
会 場 第1日目：柏崎エネルギーホール 第2日目：柏崎市産業文化会館
研修テーマ 「地域の資源・資産を知る 生かす 創る」
講 師 竹内純子氏 環境・CSRコンサルタント

地区青少年交換委員会より「2014～15年度一年交換派遣学生」募集のご案内

- ① 交換先（予定） アメリカ ドイツ ブラジル タイ 他
- ② 資格
 - ・出発時に高校在学中の19歳以下で学業成績が中位以上の者
 - ・学校長の許可が得られ、心身ともに健康で一年の外国生活に対応できる者
 - ・派遣学生の家庭は受入れ家庭となることが望ましい
- ③ 受付期間と申込み方法
 - ・留学の希望について両親、通学高校の校長の了解を得た上で申込書を請求
10月末日必着で返送
 - ・2013年11月中旬選考試験
- ④ 交換学生派遣時期 2014年8月下旬出発予定
- ⑤ 派遣学生負担費用 渡航に関する費用 他

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より「達成クラブ表彰」についてのご案内

3,000万円達成クラブとして感謝状が贈られます。

※2013年6月末にて普通寄付、特別寄付累計額 30,005,953円

三条クリーン協議会より 夏祭り大花火大会『ゴミ持ち帰り運動』参加協力をお願い

日 時 2013年8月3日（土）18:30～19:30
集合場所 六の町公園本部脇 18:30 集合
実施方法 標語入りのタスキをかけてポリ袋を手渡す

3.11 福島を忘れない！三条上映実行委員会より

ドキュメンタリー映画「フタバから遠く離れて」上映のご案内

日 時 2013年8月3日（土） 10:00～ 13:30～
※12:00～13:00 前双葉町長 井戸川克隆さん講演
会 場 三条市総合福祉センター
参加費 500円 ※チケットが事務局にあります

委員会報告



職業奉仕委員会 田 代 徳太郎 委員長

職場例会のご案内

10月の「職業奉仕月間」に先立ち、熊倉会員のお骨折りにより、（株）諏訪田製作所様を訪問させていただくこととなりました。当日は一年の大半をご出張で留守にされておられる 小林知行社長が日程調整下さり、会社案内をしてくださる予定になっております。

日 時 2013年8月5日（月） 12:45～13:45頃
※通常例会より15分遅い時間となります
所在地 三条市高安寺 1332 ☎ 45-6111
スケジュール 12:50 開会点鐘・食事・会長挨拶 ⇒ 13:05 会社説明
⇒ 13:20 社内（工場）見学 ～ 自由解散

注意事項

- オープンファクトリーショップにお集まり下さい
- 現地集合、現地解散とさせていただきます
- 社員食堂を例会場として使用させていただきます。また、南クラブ用に駐車場が用意されています。当日は、親睦委員会の協力を得て、駐車場、ショップ、例会会場へ誘導、ご案内いたします。

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～ 7月22日 45,000円
今年度累計 85,000円～

- | | | | |
|---------------|---|-------|--|
| ガバナー
山崎堅輔様 | 第3回目の公式訪問、どうぞよろしくお願い申し上げます。 | 西 巻 君 | ガバナーをお迎えして・・・。ご指導お願いいたします。BOXご苦労様です。 |
| 草 野 君 | 山崎堅輔ガバナーの公式訪問です。どうぞよろしくお願い申し上げます。 | 松 崎 君 | 山崎ガバナー、ようこそ三条南RCへ。 |
| 平 松 君 | いきなりの欠席で大変ご迷惑をかけてしまい恐縮しています。今後気を付けます。山崎ガバナー、鈴木ガバナー補佐、ようこそいらっしゃいました。本日の公式訪問よろしくお願いいたします。 | 丸 山 君 | Yamazaki Governor welcome to our Club |
| 馬 場(信) 君 | 山崎堅輔ガバナーをご歓迎申し上げます。厳しいご指導よろしくお願い申し上げます。 | 吉 井 君 | 山崎ガバナーの公式訪問を歓迎して！
荒澤君、石山君、大湊君、坂井君、坂本君、
佐藤(秀)君、佐藤(嘉)君、鈴木(武)君、田代君、
銅冶君、永桶君、西潟君、野崎君、野中君、長谷君、
馬場(真)君、広岡君、船久保君、渡邊(光)君 |
| 齋 藤 君 | 山崎堅輔ガバナー、鈴木守男ガバナー補佐、本日はよろしくお願い申し上げます。 | 荻 澤 君 | 山崎ガバナーを歓迎してBOXに協力！
山崎堅輔ガバナー、鈴木守男ガバナー補佐、公式訪問によこそおいで下さいました。ご指導よろしくお願い申し上げます。多忙とは存じますが、健康にご留意いただきますようご祈念申し上げます。 |
| 鈴木(園) 君 | 山崎堅輔ガバナーの公式訪問を歓迎申し上げます。 | 田中君 | BOXへの献金、ありがとうございます。 |
| 高 橋 君 | 山崎ガバナー、本日はよろしくお願い申し上げます。 | | |

- | | |
|------------------|---|
| 福岡 柳川RC
岡本 進様 | 日本一の病院で入院、手術をしていただき、草野会長ありがとうございました。手術(脊柱管狭窄症)後も順調です。坂本さんにもいろいろお世話になりました。三条南ロータリークラブへニコニコします。 |
|------------------|---|



Speech



卓 話

公式訪問記念卓話

国際ロータリー第2560地区
ガバナー 山崎 堅輔様

三条南ロータリークラブの皆様こんにちは。

昨日の参議院議員選挙の結果、自民党が安定政権を確保、3年振りにねじれ国会が解消しました。円安株高を背景に景気は持ち直しつつあると見られていますが、職業奉仕に上手く結びついてほしいものであります。

今日は、第2分区の新潟クラブ、第7分区の高田クラブに続きまして3回目のガバナー公式訪問でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

三条南ロータリークラブは、三条ロータリークラブを親クラブとして、創立以来45年という長い歴史と伝統に培われ、そして馬場信彦パストガバナーを輩出された大変立派なクラブであるとお見受けしております。馬場信彦パストガバナーには先輩ガバナーとしていろいろご指導をいただいております。高いところからではございますが、改めまして深く感謝申し上げる次第でございます。有難うございます。

私も7月1日からガバナーに就任はしましたが、なにしろ初めてのことばかりですので、どのようにしたら良いのか、さっぱり要領を得ない状態でございます。ひょっとして、トンチンカンなことを口走ったりすることがあるかもしれませんが、どうぞお許しを願いたく存じます。

今から13年前の2000～01年度、柏崎東ロータリークラブの故宮川パストガバナーの年度で、私は地区のクラブ奉仕大委員長をやらせていただきました。故宮川パストガバナーは、ガバナー就任2カ月目で亡くなられ



まして、本当にお気の毒なことでございました。ご存知のことと思いますが、そのあとを受けて第 1 分区、村上ロータリークラブの故吉田パストガバナーが急遽二度目のガバナーに就任された訳であります。この方も数年前にお亡くなりになっております。

この 2000 年という年は、新潟県と群馬県が別々の地区となった最初の年でありまして、新潟県が 2560 地区そのまま、群馬県が 2840 地区となった訳であります。

そして、その 4 年後の 2004～05 年の横山パストガバナーの年度で私は第 1 分区のガバナー補佐をお受けいたしました。横山パストガバナーには本当にお世話になりました。余談になりますが、横山年度終了の時、慰労会だ

ったでしょうか、生まれて初めて、新潟の萬代橋筋の屋形船に乗せてもらいまして、すごく感激したことを憶えております。

横山パストガバナーからはロータリーのことよりももっと素晴らしい、江戸文物のことをいろいろと教えていただきまして、あの時以来、私の人生は少し変わったのではないかと考えております。ロン・バートン R I 会長のテーマではないですが、江戸文物を実践したことにより私の人生は間違いなく豊かになりました。本当に有難く思っております。

ご存知のとおり、1990 年を過ぎた辺から、新潟万代、新潟中央、新発田中央の 3 クラブを皮切りとしまして、田上あじさい、越後春日山、中条胎内、そして 1996 年には越後魚沼、1999 年には阿賀野川ラインと相次いで 8 クラブが誕生しております。これは誠に喜ばしいことでございました。

ところが一方で、新潟県の会員数を見ますと、1996 年の 2,881 人をピークに年々減少を続けておりまして、今年、新年度に入りました 7 月 1 日現在では 1,996 人と、偶然の一致とは面白いものですね。ピーク時の年 1996 と同じ数字となっております。こんなことに感心している場合じゃないですが、折角の拡大の努力が水泡に帰した言われかねない状況です。

私のロータリー歴、30 数年を遡って思い起こしてみますと、会員増強並びに拡大は、先ほど申し上げた 1996 年以降の会員減少傾向が始まる遥か以前から叫ばれていたことでございます。より強大な組織に育て上げたいという R I としての思いがあったのだらうと思いますが、バブルの崩壊を境に、景気低迷と軌を一にして現在に至っている訳であります。そして、未だに歯止めがかかった兆候は見受けられません。

減少傾向が始まって以来 10 数年、日本国内の 34 地区、並びに各クラブはその間何もせず傍観していたわけでは決してありません。しかし、結果は出てきません。出てこないのです。どこか違っているのです。押してダメなら引いてみな、とよく言いますが、これは根本的に発想を変えなければ現状は変わらないのではないのでしょうか。

私は、R I の役員の一員としての立場から考えても、いたずらに会員数を何パーセント増強という目標を掲げるばかりで、このような現状をどう見ているのか不思議でなりません。

私は PETS、地区協議会でも申し上げました。会員数の減少は『危機』の表われに過ぎない。『ロータリーの危機』の本質は、ロータリーが本来持っていた魅力や力が失われつつあるということであり、ロータリーの社会的存在価値が問われ始めていることを意味するのではないかと危惧するものであります。

話は少し戻りますが、2000 年 5 月に開催されました地区協議会の時に直前ガバナーであった群馬県の高木パストガバナーはこんなことをおっしゃっておられました。これは同じく前年度の R I 会長、カルロ・ラヴィッツアさん、イタリアの方の話として、出されたものなのですが、お風呂の浴槽に水を張るとき、栓をしなければ水は溜まらない、という風におっしゃっていました。つまり栓をするということは退会防止を意味しておられる訳ですね。そこで、退会防止についてですが、こんなことをおっしゃっておられました。ロータリーを辞める理由について大きく二つに分けられる、と言いんですね。

一つは自分の意志と関わりなく辞めなければ場合と、自分の意志で辞めたいと思って辞める場合とあります。自分の意志でない場合というのは、病気とかあるいは転勤という絶対的な理由があるわけですね。これが約 40%。あとの 60%が、自分の意志で辞めているということなんですね。

そこで退会防止のあの手この手が必要になってくる訳であります、その理由の

第一番目が、例会出席の負担

二番目が、新入会員に対する情報不足

三番目は、時間とおっしゃっておりました。これは例会出席の負担とちょっとダブるような感じが致しますが、時間的な調整がつかないということだと思えます。

四番目は、例会が面白くない

五番目に会費が高い

こういった順番で辞めていく理由が上がっているようであります。

さあ、皆さんのクラブでは如何でございましょうか。

一人の退会者を抑えることによって、新しい 3 人の会員を獲得するのと同じくらいに重要なことであると言われております。

会費の件でございますが、例会では必ずしも食事を出さなければならない、というルールはございません。10時とかあるいは午後の3時頃とか、そういう時間帯に、お茶とかコーヒーだけで例会があっても、これはちっとも構わない訳であります。

第1回目の新潟ロータリークラブさんで幾つかの質問がございました。その内の一つをご紹介したいと存じます。質問の内容は、『ライオンズクラブとロータリークラブはどのような違いがあるのでしょうか』というものです。私は一瞬、厄介な質問だなと思いましたが、待てよ、こんなことをきちんと知りたいと思っておられる方が意外と大勢いらっしゃるのではないかなと思い、日本事務局にも問い合わせしてみました。それとは別に私の同期ガバナーの中には結構勉強をしておられる方がおられまして、そちらから頂いた資料によりますと

We serve は、ご存知の通り、ライオンズの公式モットーです。ところが一方の、**I serve** は、ロータリーの公式文献にはどこにも載っていないそうです。もしご存知の方がおられましたら教えていただきたく存じます。私の知る限り、**I serve** という言葉が出てくるのは1921年のエジンバラ国際大会で、アーサー・シェルドンがスピーチした『ロータリーの哲学』の中の一か所だけです。『大英帝国の国策（植民地政策）』は…云々という中で、ウェールズ皇太子の紋章に描かれている『私は奉仕する』というモットーに由来しています」という一説です。そして、この言葉は多分『私は国家に奉仕する』というような意味だったのでしょうか。シェルドンも、ロータリーの奉仕が個人奉仕だと言いたくて引用している訳では無く、ロータリーの奉仕哲学を縷々説明する文脈の中での引用です。

私も入会当時、ベテラン会員から「ロータリーは**I serve** だからあまり団体奉仕はしなくても良いのだよ」とご指導いただいた記憶があります。

日本では1923年、関東大震災が発生し、その時世界のロータリアンから送られた多額の寄付によって、東京ロータリークラブは被災者支援活動を開始しました。日本のロータリアンが世界的ネットワークのロータリーの力を知り、『団体』としての人道的奉仕活動に目覚めた瞬間でした。

ロータリーが『団体奉仕』を否定していれば、その後のポリオプラスや米山記念奨学会も無かったことになります。**I serve** か **We serve** かという議論は不毛のような感じがします。それに、私たちが大切にしてきた『奉仕の理念（理想）』をライオンズの枠組みの中で語る必要もないのではないのでしょうか。インターネット上のフリー百科事典のウィキペディアで『ライオンズクラブ』を検索しますと「社会奉仕活動をロータリークラブのように職域や個人で行うだけでなく、チームワークを発揮して行うことによって、有意義な効果を上げるようにと、ロータリークラブから分裂する形で組織されて団体である」となっているそうです。何かがっかりさせられますね。つまり、ライオンズクラブの方でも**I serve** と **We serve** このように使い分けているのでしょうか。正直言いまして、私には、はっきりこうだとお答えするだけの知識がございません。

次に、先般国際大会リスボンに於ける、ロン・バートンRI会長、この時点では会長エレクトとしての閉会のご挨拶全文が手元にございます。暫しお聞き願いたいと思います。時間の制約がありますので、抜粋でお許ください。

国際大会の最後にご挨拶出来ることを大変光栄に存じます。

世界中から数万人の人々がここに集まったのは、一つの理由、それはロータリーの共通認識「SERVICE ABOVE SELF」によっています。

私たちはこの4日間、互いの経験を共有し、その成功例を学び合いました。私たちはもっと多くのことを成し遂げようとここに集まっていますのです。

ロータリアンであることは本当に素晴らしいことです。

ロータリーの会員数はこの15年間、120万人であり変わっていません。私たちはロータリーの発展のためには新しい会員を増やすことがどんなに大切か語ってきました。しかし、実際は毎年12万人もの多くの会員が入ってきます。でもなぜ増強できないのでしょうか。それは、毎年12万人の人が正面玄関から入り裏口から出て行ってしまうのです。

今こそ、今こそ私たち一人ひとりが行動するときです。私たちにはロータリーに没頭し学んだアイデアに導かれ、周りの人々をも巻き込む、勇気づけるという仕事があります。一緒に行動しましょう。

もっと強いロータリーをつくり、もっと住みよい社会をつくるために

「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」

最後に、ロータリーの友 7月号をご覧いただいていますでしょうか。34地区ガバナーの紹介記事が掲載されており、私の紹介も載っております。

その中に1箇所間違いがございました。3回墜落したことになっています。私は2回しか墜落してないのですが……。しかし2度あることは3度ある、3度目の墜落は生きてはおられないだろうなと思っておりませんが、「友」の誌上で3回の墜落をさせられてしまいました。これは「死んだつもりで1年間がんばれよ」という激励であろうと思います。死んだつもりで頑張ります、どうぞよろしくお願いいたします。

Ⅰ クラブテーマ、クラブ運営方針説明・・・草野恒輔会長

Ⅱ クラブ事業計画 発表

① 会場監督	齋藤嘉一 SAA	② クラブ奉仕A	佐々木常行委員長
③ 職業分類	丸山征夫副委員長	④ 会員増強	大沢秀夫委員長
⑤ 会員選考・R情報	鈴木紈彦委員長	⑥ クラブ奉仕B	(代)草野恒輔会長
⑦ 出席	西巻克郎委員長	⑧ 親睦・プログラム	銅冶康之副委員長
⑨ ニコニコボックス	田中悌司委員長	⑩ クラブ会報	野中 悟委員長
⑪ 社会奉仕・広報	坂本洋司委員長	⑫ 職業奉仕	田代徳太郎委員長
⑬ 社会奉仕	佐藤嘉男副委員長	⑭ 青少年奉仕	馬場眞樹委員長
⑮ 国際奉仕	船久保孝志委員長	⑯ 青少年交換	渡邊光郎委員長
⑰ ロータリー財団	野崎正明委員長	⑱ 米山奨学	吉井正孝委員長

Ⅲ 総括 山崎堅輔ガバナー

各委員会より今年度の事業計画をご発表いただきありがとうございました。

一つ、はっきりさせておきたいことは、奉仕の事業計画というのはクラブの主体性を重要視しており、R I、あるいは地区がクラブに対してあせよ、こうせよというようなことはまずありえないということであります。

事業計画をじっくりと拝見させていただき、「基本に忠実な形できちとした計画である」と感じました。特別ご指摘申し上げる部分はございませんが、各委員会への私の考えを少しお話をさせていただきます



●会場監督、クラブ奉仕A委員会・・・記載の通り活動していただければと存じます

●職業分類・・・決められた形でのものをきちんと履行していただければと存じます

●会員増強・・・退会者のフォローというお話がありましたが、私も入会して 10 年位で一度退会、その 10 年後に再入会という経緯をたどっております。同期ガバナーにもそういった方が何人かおられました。このような例は多々あるようです、フォローは大切なことと考えます。

会員 50 名が目標とございますが、『**作次作戦**（田中作次 2012～13 年度 R I 会長）』というものがございます。日本国内全域をカバーしあえるような形で会員増強を進めようという提案で、自分の地域から他地域への転出される方の情報、他地域におられるロータリアンになり得る知人の情報などを提供しあい会員の加入を図ろうという作戦です。この手法はこれからも継続されてゆくものと思われます。情報をお寄せいただければ大変ありがたく、ご協力をお願い申し上げます。

●会員選考・R情報、クラブ奉仕B、出席・・・45 年間 90% 以上には敬意を表します。

この地域はたくさんの職種が集まり、経済交流が活発な中で、90%維持は大変なことであり、素晴らしいこととあります。ぜひ、これからもこの状態を継続していただければと思います。

●親睦・プログラム・・・「ロータリーは親睦から」と言われているように、年間行事も多彩で驚いております。精一杯楽しんでいただければと思います。

ショートスピーチは、とても素晴らしい企画だと思います。話すことが苦手な方は意外に多いと思います。私もガバナーエレクトの段階から挨拶等に大変頭を悩まされましたが、会を重ねるごとにだんだんと慣れてきているようです。経験を積むうえで、貴重な企画だと思います。

●ニコニコボックス・・・社会奉仕の活動資金の一端であることを皆さんにきちんと認識していただくことが肝心です。

●クラブ会報・・・手作りに感心しております。

余談になりますが、本日配布の週報に「ガバナー就任ご挨拶」掲載いただきありがとうございます。こちらに向かって飛んでいるパラグライダーは私です。何年か前に津南のひまわり園で開催された新潟市内写真愛好会の撮影会の折のデモンストレーションフライトの写真です。ホームページの月信の最終ページには向こうへと飛んでいく写真が載っています。ぜひご覧になって見てください。

地区活動状況を掲載との事業計画、いい記事をぜひ載せて下さい。

- 社会奉仕・広報・・・「地域のニーズに合った」、これを重要視して推進していただければ大変素晴らしいことです。
- 職業奉仕・・・企業の活動、景気動向が大きくロータリーを左右してゆきます。避けることのできないことです。地区でも徹底的に職業奉仕に重要視して取り組んでいきたいと思っております。
- 社会奉仕・・・AEDに取り組んでおられますが、使用講習会も大変大切なことです。
- 青少年奉仕・・・ローターアクト地区協議会、インターアクト年次大会、そして10月にはライラ研修が開催されますが、このような会合に出席し、若い人が非常に澆刺と規律正しく、元気よくきびきびと動いている姿に感動いたしました。こういう若者たちが育っていることに心強い思いをいたしました。そして、これに携わる地区委員会委員のボランティアとしての費やされるエネルギー、時間…、皆さんのご尽力に頭の下がる思いです。
- 国際奉仕・青少年交換・・・青少年交換委員会はかつて国際奉仕委員会の中にありましたが、現在は青少年奉仕に属した組織となっております。しかし、地区では青少年交換を独立した委員会の形で動いてもらっております。
過去に南クラブでも多くの一年交換、夏期交換の派遣受入れの実績がございますが、今年度は予定がなく準備期間とのこと、ぜひ次のチャンスに臨んでください
- ロータリー財団委員会、米山奨学委員会・・・立派に成長しいろいろなところで活躍されている学友の皆さんの姿に触れるたび、大変うれしく感激しております。
『種をまかないと収穫はできない』、『先ずは種をまかなければ絶対に収穫はあり得ない』。ロータリー財団、米山奨学事業への理解を深めていただき、ご支援をご検討いただければとお願いいたします。

Ⅳ 閉会挨拶 鈴木守男第4分区ガバナー補佐

11:00 集合の役員の方は4時間になります、暑い中お疲れ様でした。
山崎ガバナーにおかれましては、胎内からご自分で運転されて11時前には到着、本当にありがとうございます。
素晴らしい設営、企画にガバナーともども感謝いたしております。
ガバナー補佐は、地区会員増強・拡大・活性化委員も兼務しております。8月19日には、「会員増強拡大月間」に際しまして、またお邪魔させていただきます。
本日はありがとうございました。

Birthday 8月のお祝い 誕生日



会員誕生	12日	松崎孝史君	12日	高橋祐介君
	15日	鈴木 武君	31日	渡邊久晃君
夫人誕生	7日	鈴木マサ子（武）さん	15日	坪井恭子（正康）さん
	24日	丸山千代子（征夫）さん	24日	西潟千代（精一）さん
	24日	鈴木朝子（圀彦）さん	27日	加藤さとみ（峰孝）さん

＊ おめでとうございます ＊

ときを超えて
あの日の一枚・
佐藤秀夫会員 22歳
三味線を愛する粋な若者

三條南ロータリークラブ週報
2013. 7.22
No.2085 No. 3